

医療法人南労会 紀和病院季刊誌

ウェルビー

ご自由に
お持ちください



人として、
父として、
医師として



和歌浦
番戸庭園



第 56 号 2023 年度 秋

医療法人南労会 紀和病院

〒648-0085 和歌山県橋本市岸上 18-1 TEL.0736-33-5000
E-mail: info@nanroukai.or.jp URL: http://www.nanroukai.or.jp



神戸動物王国



KIWA Doctor's Story No.5



消化器外科／膵臓・胆のう外科

竹内 昭博 たけうち あきひろ

宮崎大学（平成 21 年卒）

日本外科学会 専門医

日本消化器外科学会 専門医

日本消化器病学会 専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

日本内視鏡外科学会技術認定医

日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医



ICT チーム



手術チーム（消化器外科）

紀和病院 外科で勤務しております、竹内昭博です。

まずは簡単に自己紹介をさせていただきます。私は和歌山県和歌山市出身で、宮崎大学を卒業後に、医師として和歌山県に戻ってきました。医者を目指した最初のきっかけは、小学生の頃に家族でみていた「外科医 柊又三郎」という医療ドラマで、主役のショーケンがとてもしっかりと、父親と毎週楽しみにしていました。

小さいころから運動が好きで、野球・ソフトテニス・ラグビーなどのスポーツを経験してきました。しかし、社会人になってからは運動は全くしておらず、紀和病院にきてから体重も増加の一途をたどっています（1年半で3kg増）。

今でもスポーツを観るのは好きで（といってもTVやネットですが）、最近は特に格闘技（ボクシング・総合格闘技）の試合やニュース・YouTubeをよく見ます（井上尚弥選手に大注目してます!!）。そして、私自身も脱げる体を手に入れたという野望はあります！

うちには目に入れても痛くない娘が2人おりますが、いつも妻に任せてばかりですし、料理は全然できません（涙）。仕事と子育てを両立し頑張っている方々は、本当にすごいと尊敬しています。自分も子供たちに（家の内・外で）頑張っている父の背中を見せていければと思います。

さて、近年の医療技術の向上はすさまじいですが、日本では「がん」によって命を落としてしまう方は増えています。がんになるリスクを下げるには、「禁煙する」「節酒する」「食生活を見直す」「体を動かす」「適正体重を維持する」「感染症の検査をする」などの予防法が推奨されています。ただ、がんは遺伝子に「傷」が生じることによって異常な細胞が無秩序に増え続けてしまう病気で、長生きすればするほど「傷」が入る可能性、「がん」になる可能性も増えてしまうわけです。2人に1人は「がん」になる今の時代、「がん」になってしまうことを恐れるのではなく、自分もいつかは「がん」になると定期的に検診を行い、多くの方が少しでも早い段階で病気を見つけられるようになればと考えています。そして、私はそういった方がスムーズに治療できるように、ご自身やご家族が思うような医療・希望する治療を選択できるように、手助けしていけたらと思っています。



初診時・再診時の『選定療養費』の変更

始まりです。
紹介受診重点医療機関。

それは、かかりつけ医などからの紹介状を持って受診いただくことに重点をおいた医療機関です。

- 手術・処置や化学療法等を必要とする外来、放射線治療等の高価な医療機器・設備を必要とする外来などを行っています。
- 紹介状のありなしに関わらず、受診は可能ですが、紹介状がなく来院された場合は、一部負担金(3割負担等)とは別の「特別の料金」が原則必要となります。

2023年新制度スタート 令和5年8月版

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

当院は 2023 年 8 月 1 日付けで和歌山県より「紹介受診重点医療機関」に選定されました。今後は地域の医療機関の方々との連携を今まで以上に強化し、適切な検査や治療をスムーズに提供できるよう努めてまいります。

なお、2024 年 2 月 1 日より医療法人南労会紀和病院に紹介状をお持ちでなく来院された患者さんについては、通常の医療費の他に選定療養費をご負担いただくこととなりますので、御理解の程よろしくお願いいたします。

次に該当する方は、選定療養費のご負担はありません。

- 1.他の医療機関からの紹介状をお持ちいただいた場合（整骨院、接骨院、鍼灸院、海外の医療機関からの紹介状は対象外です）
- 2.特定健診、がん検診等の結果により精密検査の指示があった場合
- 3.受診後、そのまま入院した場合
- 4.医科と歯科の間で院内紹介により受診した場合
- 5.生活保護法による医療扶助の対象である場合
- 6.特定疾患または障害などの各種公費負担制度受給対象である場合（乳幼児医療、義務教育就学児医療、ひとり親家庭医療は対象外）
- 7.災害により被害を受けた方が受診する場合
- 8.労働災害、公務災害、交通事故、自費診療の場合



2023 年度 KIWA IV ナース 研修プログラム

昨年に引き続き、KIWA IV ナース（院内認定静脈注射ナース）研修プログラムを開催していきます。今年度より地域の看護師さんも参加されます。10月4日（水）開講式の様子です。

救急医療功労者知事表彰 受彰しました

和歌山県では毎年、救急医療対策の推進など、救急医療の確保に貢献し、その功績が特に顕著である個人又は団体を対象に『救急医療功労者に対する知事表彰』が行われております。

この度、当法人理事長 佐藤 雅司医師が長年にわたる救急医療功労者として、8月26日和歌山市のホテルアバローム紀の国にて表彰式が執り行われ受彰しました。

今後も地域の皆さまに寄り添い、さらなる地域貢献に尽力するため、伊都橋本地域の救急医療が充実するよう努力して参ります。



日本人女性の
9人に1人が乳がん
他人事じゃない。

女性のがん罹患率 1位

乳がん検診、 受けていますか



和歌山県内でも年間 800 人以上の女性が「乳がん」の告知を受けています
でも、乳がんは早期発見と適切な治療をきちんと受ければがんの中でも完治・生存率が高
い病気です。あなたと、あなたの大切な人のために乳がん検診を受けましょう。

毎年 10月はピンクリボン月間として、世界規模で乳がん検診の早期受診を呼びかけています

橋本市立全ての小学校 14 校へ置き傘を寄贈しました！

乳がんいのちプロジェクトは子ども達とも一緒に啓発活動を続けていきます



マイナンバーカードの保険証利用について

顔認証付きカードリーダーにマイナンバーを置き、画面の指示に従い
ボタンを押していくことで受付が完了します。
※受付職員に案内票を提示の上でご使用ください。



通院においても、その他の場面でも
マイナンバーカードの健康保険証利用で便利になります

いつもの通院等が便利に！

こんなところも簡単・便利に！



特定健診や薬の
情報をマイナポータル
で閲覧できる

マイナポータルから
e-Taxに連携し、
確定申告が簡単に

健康保険証として
ずっと使える

(注意！)

公費等の受給者証はマイナンバー
で確認できません

各種公費負担医療制度について
は、これまでどおり受給者証等の
確認をさせていただきますのでお
持ちください。

・子ども医療受給者証

・福祉医療受給者証

・特定疾患受給者証

・精神医療受給者証等

はがきサイズの紙の受給者証等は
対応していません。

※生活保護の方はマイナンバーで
の確認はできません。



院長 上田 和樹 先生

当院は平成25年5月に開業し今年で10年目を迎えました。もともと父が約55年前にかつらぎ町笠田の地に開業し、現在は1階で父(内科)と兄(精神科)、2階で私が消化器内科をしております。

私は高校卒業してからは家を離れておりましたので、もともと田舎に帰って開業する気はありませんでした。なので父親に開業を勧められても適当にはぐらかしておりました。長年大学病院で研究、臨床、教育におわれた生活をしておりましたが、最中に(確か37歳頃だったと思います)体調を壊し2週間ほど入院致しました。今思えば、精神的にも肉体的にも限界だったと思います。その時に初めて開業することを考えました。

42歳で開業致しましたが、開院当初は消化器専門に特化したクリニックにこだわるが故に内視鏡検査の数があまりにも少なすぎる事に落ち込んだりもしておりましたが、この地域で求められる事は何でもやろうと考えを切り替えてからは患者さんも徐々に増え、今では地域医療のスペシャリストを目指して日々頑張っております。

紀和病院にはいつも救急の患者さんを診て頂き、大変お世話になり有難うございます。これからも地域密着で頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。



*本文は上田和樹先生よりご寄稿いただきました。

上田消化器・内科クリニック

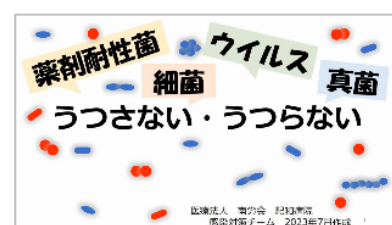
〒649-7161 伊都郡かつらぎ町笠田東 171
TEL (0736)23-2001

紀和病院 医療チーム紹介 No.1

感染対策チーム

こんにちは。感染対策チームの曾和です。

感染対策チームは、さまざまな感染症から患者様、ご家族、そして医療スタッフを守ることを通して、この地域の医療を支えることを役割としています。新型コロナ感染症の流行をうけて、2022年に再編成した当院の感染対策チームは、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、感染担当事務で構成されております。私、曾和は緩和ケア医として当院で勤務しております。主に、病院全体の感染対策、そして患者様にとって大事な面会に関して、科学的な視点から面会の続行や中止について考察してまいりました。患者様、およびご家族のご協力もあって、現在も面会の継続をさせていただいております。新型コロナ感染症やインフルエンザなど、まだまだ予断を許さない状況ですが、これらの流行に対して、地域を支えることができるように感染対策チーム全員で励んでまいります。



▲ 当院公式
YouTube